

第2学年	数学科	使用教材	未来へひろがる数学2 (啓林館) よくわかる数学の学習2 (明治図書) 学年別・数学の計算練習2年 (新学社)
------	-----	------	--

<学習の目標>

- ・いくつかの文字を含む整式の四則計算ができるようになることや、文字を用いた式で数量および数量の関係を捉え説明できることを理解し、文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。
- ・二元一次方程式とその解の意味や連立させることの必要性と意味および連立二元一次方程式の解の意味を理解し、解を求めることができるようにする。また、具体的な場面で活用することができるようになる。

授業のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集なども忘れ物をせず、わからないときはできる限り早く先生に質問すること ・説明を聞くときとノートをとるときを区別し、授業中に自分で考える時間をつくること ・黒板に書いてあること以外にも先生の話の中で大事だと思ったことはノートに書くこと
家庭学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習った範囲はすぐに教科書や問題集などを使って復習しておくこと ・習ったことが定着するまで、何度も問題集をくり返し行うこと
テストについて	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト

評価の観点	判断基準について
基礎的な概念・原理・法則を理解し、数学的に表現・処理する技能を身につけている。	授業中の様子・小テスト・定期テスト
数量・図形などの関係を的確にとらえ、論理的に考察することができ、数学的に表現する力を身につけている。	授業中の様子・小テスト・定期テスト
主体的に粘り強く学習に取り組み、数学を生活や学習に生かそうとしている。	授業中の様子・単元レポート・提出物

<1学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
4	1章 式の計算 ・式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な整式の加法と減法および単項式の乗法と除法の計算をすること。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる数学の学習2 ・学年別・数学の計算練習2年
5	・文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて、簡単な式を変形すること。 ・文字を用いた式で数量および数量の関係を捉え説明できることを理解し、具体的な場面で活用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元レポート ・単元テスト
6	2章 連立方程式 ・連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・連立二元一次方程式の必要性と意味およびその解の意味を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかる数学の学習2
7	・連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な二元一次方程式を解くこと ・連立二元一次方程式を具体的な場面で活用すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別・数学の計算練習2年 (定期テスト前課題)

<p><荒牧中学校 研究テーマ> 「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成 ～言語活動の先にある協同的探究を目指して～」</p> <p>各教科で工夫していること、思考力を高めたいこうとするために各教科で行っている手立て</p>
--